

令和6年度 授業計画書(シラバス)

科目名	衛生学・公衆衛生学	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3年	
担当教官名	瀧澤 哲	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	衛生学・公衆衛生学が予防医学として発展してきた歴史や、個人の健康と公衆衛生が相互に関連しあっている仕組みと意義について学びます。	
到達目標	以下の説明ができることを目標とする。 健康の保持増進と生活、公害、産業保健、精神保健、母子保健、生活習慣病、感染症、消毒法、疫学、保健統計	
授業計画	前期計 (16週)	
	第1章 衛生学及び公衆衛生学の意義	2
	第2章 健康の保持増進と生活	13
	第3章 生活環境と公害（社会的環境因子と健康を除く）	15
	形成的評価	1
	期末試験	
	期末試験解説	1
	後期計 (14週)	
	第4章 産業保健	6
	第8章 感染症対策	7
	第9章 消毒法	4
	第10章 疫学	2
	第11章 衛生統計と人口統計	3
	第5章 精神保健	1
	第6章 母子保健	1
	第7章 生活習慣病と老人保健（介護保険を除く）	2
	形成的評価	1
	期末試験	
	期末試験解説	1
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期末に試験(評価)を行い、その平均点（小数点以下は切り捨て）を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。中間試験を各学期内に1回行いますが、これは形成的評価として学年末評価には含めません。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ、行います。やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	教科書を精読し内容の理解に努めてください。一つの章が終わったら国試問題を解きます。問題は事前にお渡ししますので自分のペースで解いてみてください。	
使用教科書	理療科用 疾病の成り立ちと予防Ⅰ 改訂9版 高橋昌巳・一幡良利 桜雲会 2022年	
参考書/参考資料	公衆衛生がみえる 2024-2025 第6版 医療情報科学研究所 メディックメディア 2024年	

令和 6 年度 授業計画書(シラバス)

科目名	臨床医学各論	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3 年	
担当教官名	瀧澤 哲	
修得単位数	3 単位	
年間授業時数	9 0 時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	本科目は主に内科疾患を中心に疾患の概要・病態生理・成因・症状・検査・治療法について学習します。	
到達目標	①施術を行うために必要な疾病について体系的・系統的に理解することができる。②施術において適応及び禁忌の判断が適切にできるようになる。	
授業計画	前期計 (16 週)	前期計 48時間
	別紙	
	後期計 (14 週)	後期計 42時間
	別紙	
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期末に試験(評価)を行い、その平均点(小数点以下は切り捨て)を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。また、知識の定着や自主学習状況の把握のため、確認テストや授業内の口頭試問などを随時行いますが、学年末評価には含めません。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ、行います。やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	教科書を精読し内容の理解に努めてください。一つの章が終わったら国試問題を解きます。問題は事前にお渡ししますので自分のペースで解いてみてください。	
使用教科書	生活と疾病Ⅲ(臨床医学各論) 第5版 盲学校理療教科用図書編纂委員会 日本ライハウス 2022年	
参考書/参考資料	臨床医学各論 第2版 奈良信雄 医歯薬出版株式会社 2021年	

(別紙) 令和6年度 授業計画書(シラバス)

科目名	臨床医学各論	
	前期計 (16週)	前期計 48時間
前期の授業計画	オリエンテーション	1
	第3章 循環器疾患	11
	第4章 呼吸器疾患	10
	第5章 消化器疾患	11
	第6章 代謝・栄養疾患	7
	第7章 内分泌疾患	6
	形成的評価	1
	期末試験	
	期末試験解説	1
後期の授業計画	後期計 (14週)	後期計 42時間
	第8章 腎・泌尿器疾患	6
	第9章 男性生殖器疾患	2
	第10章 婦人科疾患	3
	第11章 血液・造血器疾患	6
	第12章 アレルギー・免疫異常	6
	第13章 精神・心身医学的疾患	6
	第14章 耳鼻咽喉科疾患	2
	第15章 眼科疾患	2
	第16章 皮膚科疾患	2
	第17章 感染症	5
	形成的評価	1
	期末試験	
	期末試験解説	1

令和 6 年度 授業計画書(シラバス)

科目名	リハビリテーション医学	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3 年	
担当教官名	石田 亮介	
修得単位数	2 単位	
年間授業時数	6 0 時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者として必要なリハビリテーション医学の基礎的知識を施術に応用する能力と態度を修得する授業です。	
到達目標	障害を適切に評価し、その評価に応じた治療・訓練が選択できる。あはき施術で遭遇することが多い疾患に対して応用と実践ができる。	
授業計画	前期計 (16 週)	前期計 32時間
	1 リハビリテーションの概要	5
	2 障害の評価	7
	3 リハビリテーション治療	7
	4 基礎運動学	7
	5 疾患別リハビリテーション (1) 脳血管障害	5
授業計画	期末試験 (筆記試験) 試験の解答解説	1
	後期計 (14 週)	後期計 28時間
	5 疾患別リハビリテーション (1) 脳血管障害 (つづき)	2
	(2) 脊髄損傷	4
	(3) 脳性麻痺	4
	(4) 切断	3
授業計画	(5) 呼吸器疾患	3
	(6) 骨・関節疾患	3
	(7) 神経疾患	2
	介助演習	3
	国家試験対策	3
	期末試験 (筆記試験) 試験の解答解説	1
実務経験の有無 その活かし方	有	理学療法士
	理学療法士として病院勤務の経験を踏まえて教授します。	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期末に試験(評価)を行い、その平均点 (小数点以下は切り捨て) を学年末評価とします。この学年末評価が 6 0 点以上であることが単位修得要件の一つです。授業の中で形成的評価を目的とした発問を随時行います。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が 5 0 点以上の場合のみ、行います。やむを得ない理由があっても、1 5 分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	復習の時間を確保し、授業でまとめた要点を中心に知識の定着に努めてください。単に暗記するだけでなく、運動学的な意義を繋げて内容の理解にも努めてください。学習する中でわからないところは曖昧にせず、教科書を見直して課題解決に努めてください。メールでの質問にも対応しますので、一緒に課題を解決しましょう。	
使用教科書	生活と疾病ⅠA (リハビリテーション医学概論編) ※小冊子付き 又は(増補版) 著者:太田淳一郎 東京ヘンゲーター協会 2019年 生活と疾病ⅠB (リハビリテーション医学基礎運動学編) 著者:福光英彦 東京ヘンゲーター協会 2013年	
参考書/参考資料		

令和 6 年度 授業計画書(シラバス)

科目名	医療概論（社会保障制度及び職業倫理を含む）	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3 年	
担当教官名	高橋 務	
修得単位数	2 単位	
年間授業時数	3 0 時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	現代の医療制度と社会保障制度及び職業倫理と医学史について基礎的知識を学びます。	
到達目標	「現代の医療」について理解し、説明することができる。 「社会保障制度」について各種分類し、説明することができる。 「医学史」について理解し、説明することができる。	
授業計画	前期計 （1 6 週）	前期計 16時間
	ガイダンス	1
	現代の医学と医療	7
	社会保障制度	6
	復習	1
	期末試験 期末試験 講評	1
	後期計 （1 4 週）	後期計 14時間
	前期復習	1
	社会保障制度	3
	医療倫理	6
	医学史、その他	2
	復習 期末試験 期末試験 講評	1 1
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期末に試験(評価)を行い、その平均点（小数点以下は切り捨て）を学年末評価とします。この学年末評価が6 0 点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	やむを得ない理由があっても、1 5 分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。 再評価試験は、出席要件を満たし、学年末成績が5 0 点以上の場合のみ行います。 進捗状況によっては、授業計画が変更になることもあります。	
自己学習の進め方	授業で示される要点を中心に授業内容を繰り返し復習してください。	
使用教科書	医療と社会(改訂第8版) 田中千章 岡山ライオンズ 2022年	
参考書/参考資料		

令和 6 年度 授業計画書(シラバス)

科目名	東洋医学臨床論（あはきの適応の判断を含む）	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3 年	
担当教官名	阿部 博明	
修得単位数	5 単位	
年間授業時数	1 5 0 時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	この科目では、臨床で遭遇する代表的な疾患に対して症状及び所見から病態を把握し、疾患の鑑別及びあはき施術の適否の判断と効果的な治療方法について学習します。	
到達目標	各主要疾患に対し、必要な診察及び治療の適否を判断、患者への説明ができる。効果的な施術と施術後の評価を行うことができる。	
授業計画	前期計 （1 6 週）	前期計 80時間
	1. ガイダンス	1
	2. 治療論（総論、治療原則）	15
	3. 疾患の鑑別とあはきの適応の判断及び症候別治療（肩こり、頸肩腕痛、肩関節痛、上肢痛、腰下肢痛、膝痛、運動麻痺、頭痛、顔面痛、顔面麻痺、歯痛、眼精疲労、鼻閉、脱毛症、めまい、耳鳴り、咳嗽、喘息、胸痛、腹痛） （うち、あはきの適応の判断 15時間） *あはきの適応の判断	45
	4. スポーツ傷害の鑑別とあはきの適応の判断及び理療施術 （うち、あはきの適応の判断 4時間） *あはきの適応の判断	8
	5. 国試対策（演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む）	8
	6. 総括的評価（中間試験・期末試験）	
	7. 総括的評価の解答解説	3
	後期計 （1 4 週）	後期計 70時間
	8. 疾患の鑑別とあはきの適応の判断及び症候別治療（悪心、便通異常、月経異常、排尿障害、E D、高血圧症、低血圧症、食欲不振、肥満、発熱、のぼせと冷え、不眠、疲労と倦怠、発疹） （うち、あはきの適応の判断 10時間） *あはきの適応の判断	48
	9. 高齢者の疾患に対するあはきの適応の判断及び理療施術 （うち、あはきの適応の判断 3時間） *あはきの適応の判断	8
	1 0. 国試対策（演習問題の実施、模擬試験問題の分析を含む）	10
	1 1. 総括的評価（中間試験・期末試験）	
	1 2. 総括的評価の解答解説	4
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期の中間期及び学期末に試験（評価）を行い、その平均点を当該学期の評価とします。各学期の平均点（小数点以下は切り捨て）を学年末評価とします。この学年末評価が 6 0 点以上であることが単位修得要件の一つです。形成的評価として、各単元の終了時に問題演習を行います。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が 5 0 点以上の場合のみ、行います。やむを得ない理由があっても、1 5 分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	この科目で習得する知識・技術は、すでに履修済みの解剖学、臨床医学総論、経絡経穴概論、東洋医学概論、理療臨床医学各論の知識を必要としますので、各科目の復習をしてください。また、授業の復習による知識の定着とともに、臨床実習などでの活用を通して、治療技術の向上を期待します。	
使用教科書	配布資料	
参考書/参考資料	臨床理療学（あはき師用東洋医学臨症論）改定第2版 オリエンス研究会 岡山ライハウス 2023年	

令和 6 年度 授業計画書(シラバス)

科目名	臨床診察学（生体観察を含む）	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3 年	
担当教官名	高橋 務	
修得単位数	1 単位	
年間授業時数	3 0 時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者に必要な医療面接と生体観察を含む身体診察による臨床推論の実際について学び、施術を適切かつ効果的に行う能力を習得します。	
到達目標	医療面接及び生体観察の知識と技術を理解し、説明・実践できる。	
授業計画	前期計 （1 6 週）	前期計 16時間
	ガイダンス	1
	施術録（カルテ）	1
	問診（医療面接）	1
	頸部の診察	4
	肩関節の診察	4
授業計画	肘関節の診察	4
	期末試験	
	期末試験 講評	1
	後期計 （1 4 週）	後期計 14時間
	手関節及び手指の診察	3
	腰殿部の診察	4
授業計画	股関節の診察	2
	膝関節・下腿の診察	4
	期末試験	
	期末試験 講評	1
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期末に試験(評価)を行い、その平均点（小数点以下は切り捨て）を学年末評価とします。この学年末評価が6 0 点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	やむを得ない理由があっても、1 5 分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。再評価試験は、出席要件を満たし、学年末成績が5 0 点以上の場合のみ行います。進捗状況によっては授業計画が変更になることもあります。	
自己学習の進め方	授業内容を復習して一連の流れを理解し、授業で示される要点をしっかりと覚えてください。	
使用教科書	配布資料	
参考書/参考資料		

令和 6 年度 授業計画書(シラバス)

科目名	臨床取穴学(生体観察を含む)	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3 年	
担当教官名	鳥丸 大地	
修得単位数	1 単位	
年間授業時数	3 0 時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者として必要な取穴法を生体観察とともに学習します。また、治療に必要な選穴法及び配穴法について学習します。	
到達目標	選穴法、配穴法の概念について説明することができる。 配穴法に合わせた取穴について理解することができる。 施術を適切かつ効果的に行う能力と態度を修得している。	
授業計画	前期計 (16 週)	前期計 16時間
	①ガイダンス	1
	②取穴法の基礎(取穴姿勢、取穴方向) *生体観察	4
	③選穴法、配穴法の基礎 *生体観察 1 時間	2
	④正経治療法 *生体観察 4 時間	8
	⑤期末試験	
	⑥期末試験講評	1
	後期計 (14 週)	後期計 14時間
	⑦奇経治療法 *生体観察 1 時間	2
	⑧太極治療法 *生体観察 1 時間	2
	⑨中医学弁証による治療法	1
	⑩症状に対する選穴 *生体観察 4 時間	8
	⑪期末試験	
	⑫期末試験講評	1
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期末に試験(評価)を行い、その平均点(小数点以下は切り捨て)を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ、行います。やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	この科目で習得する知識・技術は、すでに履修済みの解剖学、経絡経穴概論の知識を必要としますので、各科目の復習をしてください。	
使用教科書		
参考書/参考資料		

令和 6 年度 授業計画書(シラバス)

科目名	地域理療と理療経営	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3 年	
担当教官名	瀧澤 哲	
修得単位数	2 単位	
年間授業時数	6 0 時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者として必要な地域社会における理療の役割、医療・福祉のあり方、理療の経営に必要な知識を学びます。	
到達目標	社会保障制度について述べることができる。施術所の開設準備に必要な知識と経営スキルを身につけることができる。超高齢社会の中における理療の意義と役割を理解することができる。	
授業計画	前期計 (16 週)	前期計 32時間
	第1章 地域社会と理療	4
	第2章 少子高齢社会の現状と課題	7
	第3章 社会保障制度の体系	14
	第4章 理療業務と社会保障制度	6
	期末試験 期末試験解説	1
	後期計 (14 週)	後期計 28時間
	第4章 理療業務と社会保険制度	3
	第5章 理療経営の基礎	6
	第6章 理療経営の展開	15
	第7章 理療と就労	3
	期末試験 期末試験解説	1
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期末に試験(評価)を行い、その平均点(小数点以下は切り捨て)を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	教科書を中心に進めます。 再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ、行います。 やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	授業に出てくる社会保障制度や社会保険制度は、毎年変わることがあります。テレビのニュースや新聞、インターネットなどで情報に触れ、関心を持ってください。	
使用教科書	地域理療と理療経営 第5版 著者:藤井亮輔・福田勉 東京ヘルシー協会 2023年	
参考書/参考資料		

令和6年度 授業計画書(シラバス)

科目名	あん摩マッサージ指圧臨床実習	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3年	
担当教官名	瀧澤 哲	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	90時間	
授業の方法	実習	
科目の概要 (授業科目の内容)	あん摩マッサージ指圧師としての臨床に必要な知識と技能、リスク管理、臨床実習協力者への接遇等について学び、施術を安全かつ効果的に行う能力と態度を修得します。	
到達目標	あん摩マッサージ指圧施術の適応・不適応を鑑別できる。衛生管理、リスク管理を徹底し、臨床実習協力者に安全な施術ができる。医療面接→身体診察→病態把握→治療方針の立案までの流れを独力でいき、効果的な施術を実践することができる。	
授業計画	前期計 (16週)	
	オリエンテーション	3
	模擬臨床	3
	臨床実習協力者への施術	39
	形成的評価	3
	後期計 (14週)	
	臨床実習協力者への施術	39
	形成的評価	3
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	前期・後期の学期末に「臨床実習評価ガイドライン」に従い評価を行います。学年末評価は、前期と後期の評価点の平均点（小数点以下は切り捨て）です。各学期の中間期に施術技能を確認するための形成的評価を行います但単位習得の評価には含めません。	
履修上の留意点	日頃から頭髪や爪の手入れ等身だしなみに留意し、実習では清潔な白衣上下を着用してください。実習開始前までに衛生的手洗いを済ませ、ベッドにタオルシーツを敷く等準備をしておいてください。	
自己学習の進め方	実習の前日までに、担当する臨床実習協力者のカルテを確認し、施術の方針・内容について担当教官と打合せを行い、施術に必要な予習をしておいてください。	
使用教科書		
参考書/参考資料		

令和6年度 授業計画書(シラバス)

科目名	はりきゅう臨床実習Ⅰ・Ⅱ	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3年	
担当教官名	鳥丸 大地・井上 浩明	
修得単位数	4単位	
年間授業時数	180時間	
授業の方法	実習	
科目の概要 (授業科目の内容)	2年次までに習得してきた理療の知識・技術を応用して、医療面接や触診・徒手検査等により得られた情報から、はりきゅう施術の適応・不適応を判断する能力、適切な治療計画を立て、安全かつ効果的な施術を行う能力、施術や評価の結果をカルテに正確・明瞭に記録する能力、患者情報の守秘義務を遵守する人間性の獲得を目指します。	
到達目標	はりきゅう施術の適応・不適応を鑑別できる。 衛生管理、リスク管理を徹底し、安全な施術ができる。 医療面接→身体診察→病態把握→治療方針の立案までの流れを独力で行い、効果的な施術を実践することができる。	
授業計画	前期計 (16週)	前期計 96時間
	オリエンテーション	3
	模擬臨床	9
	臨床実習協力者への施術	78
	形成的評価	6
	後期計 (14週)	後期計 84時間
	臨床実習協力者への施術	78
	形成的評価	6
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	前期・後期の学期末に、別途配布する『臨床実習評価ガイドライン』に基づき、2名の実習担当教官が評価を行い、その平均（小数点以下は切り捨て）を学期末評価とします。実習補助員は、評価に関する助言を行います。学年末評価は、前期と後期の評価点の平均点（小数点以下は切り捨て）です。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の1つです。	
履修上の留意点	日頃から頭髮や爪の手入れ等身だしなみに留意し、実習では清潔な白衣上下を着用してください。実習開始前までに衛生的手洗いを済ませ、ベッドにタオルシーツを敷く等の準備をしておいてください。	
自己学習の進め方	実習前日までに、担当する患者様のカルテを確認し、治療の方針・内容について担当教官の承諾を受け、施術に必要な予習をしておいてください。	
使用教科書		
参考書/参考資料		

令和 6 年度 授業計画書(シラバス)

科目名	あん摩マッサージ指圧の歴史と理論	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3 年	
担当教官名	高橋 務	
修得単位数	2 単位	
年間授業時数	6 0 時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	あん摩マッサージ指圧師として必要なあん摩マッサージ指圧の歴史と基礎及び理論について学びます。	
到達目標	あん摩マッサージ指圧それぞれの歴史や方法を知り、説明できる。 基礎理論や治効理論及びリスク管理を理解し、実習に活用できる。	
授業計画	前期計 (16 週)	前期計 32時間
	ガイダンス	1
	あん摩マッサージ指圧の意義	1
	あん摩 マッサージ	10 8
	指圧	5
	その他の関連する治療法	4
	あん摩マッサージ指圧の臨床応用	3
	後期計 (14 週)	後期計 28時間
	前期復習	2
	リスク管理	5
	あん摩マッサージ指圧の基礎理論	10
	あん摩マッサージ指圧の治効理論	6
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期末に試験(評価)を行い、その平均点(小数点以下は切り捨て)を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。 再評価試験は、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ行います。 進捗状況によっては授業計画が変更になることもあります。	
自己学習の進め方	授業内容を復習して一連の流れを理解し、授業で示される要点をしっかりと覚えてください。	
使用教科書	基礎保健理療Ⅱ(保健理療理論)改訂版 都立文京盲学校理療科研究会 日本ライハウス 2014年	
参考書/参考資料		

令和 6 年度 授業計画書(シラバス)

科目名	はりきゅうの歴史と理論	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3 年	
担当教官名	鈴木 格・阿部博明	
修得単位数	2 単位	
年間授業時数	6 0 時間	
授業の方法	講義（遠隔）	
科目の概要 (授業科目の内容)	はり師、きゅう師として必要な鍼灸の基礎及び臨床能力並びに歴史について学び、施術を適切かつ効率的に行う能力と態度を修得する授業です。	
到達目標	以下の内容を理解して説明ができることを目標とします。 古代医学と現在の刺法・灸法、リスク管理、鍼灸刺激と伝導・自律神経反射・鍼鎮痛機序、関連学説	
授業計画	前期計 （1 6 週）	
	1 鍼の基礎と歴史	4
	2 基本的な刺鍼方法	3
	3 特殊鍼法	4
	4 灸の基礎	6
	5 灸法の種類	4
	6 鍼灸の臨床応用	6
	7 リスク管理	4
	8 期末試験（筆記試験）	
	9 期末試験の解答解説	1
	後期計 （1 4 週）	
	10 鍼灸の治効理論	12
	11 関連学説	12
	12 期末試験（筆記試験）	
	13 期末試験の解答解説	1
	14 国家試験対策	3
実務経験の有無 その活かし方	有	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師免許
	あはき施術所での施術経験を活かし、実践を踏まえて教授します。	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期末に試験(評価)を行い、その平均点（小数点以下は切り捨て）を学年末評価とします。この学年末評価が6 0 点以上であることが単位修得要件の一つです。授業の中で形成的評価を目的とした発問を随時行います。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が5 0 点以上の場合のみ、行います。やむを得ない理由があっても、1 5 分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	復習の時間を確保し、授業でまとめた要点を中心に知識の定着に努めてください。単に暗記するだけではなく、東洋医学的・西洋医学的な意味を繋げて内容の理解にも努めてください。学習する中でわからないところは曖昧にせず、教科書を見直して課題解決に努めてください。メールでの質問にも対応しますので、一緒に課題を解決しましょう。	
使用教科書	基礎理療学Ⅲ（新版理療理論） オリエンス研究会 岡山ライハウス 2022年	
参考書/参考資料	配布資料	

令和6年度 授業計画書(シラバス)

科目名	課題研究	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3年	
担当教官名	嶋 正明・阿部 博明	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	30時間	
授業の方法	講義（遠隔）	
科目の概要 (授業科目の内容)	過去の国家試験問題を用いて東洋医学概論に関する知識の定着及び臨床能力の向上を目的とした総合演習を行います。	
到達目標	東洋医学概論の国家試験頻出問題を解くことができる。 東洋医学的な概念から課題を解決し、臨床応用することができる。	
授業計画	前期計（16週）	前期計 16時間
	ガイダンス	1
	東洋医学の基礎理論	2
	東洋医学の生理観	5
	東洋医学の疾病観	5
	問題演習	2
授業計画	期末試験	
	期末試験の講評	1
	後期計（14週）	後期計 14時間
	診断論	5
	治療論	5
	問題演習	3
授業計画	期末試験	
	期末試験の講評	1
実務経験の有無 その活かし方	有	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師免許
	あはき施術所での施術経験を活かし、実践を踏まえて教授します。	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期末に試験(評価)を行い、その平均点（小数点以下は切り捨て）を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ、行います。やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	この科目で習得する知識・技術は、すでに履修済みの東洋医学概論や経絡経穴概論の知識を必要としますので、各科目の復習をしておいてください。学習する中でわからないところは曖昧にせず、教科書を見直しして課題解決に努めてください。メールでの質問にも対応しますので、一緒に課題を解決しましょう。また、本授業の復習による知識の定着とともに、臨床実習に応用する等、治療技術の向上にも期待します。	
使用教科書	基礎理療学Ⅰ（東洋医学概論）(改訂第7版) オリエンス研究会 岡山ライハウス 2021年	
参考書/参考資料		